

10000個の“あかり”に平和のメッセージを託し市民の皆さんや子どもたちとともに発信します。また、3月1日には東日本大震災から2年を迎えることから、震災で犠牲になられた方々への哀悼と、復興のメッセージを枚方から届けます。枚方市は戦前には大きな軍需工場が3つもあった軍需のまちでした。1939年(昭和14年)3月1日、当時の陸軍の禁野火薬庫が大爆発し、多くの方が死傷しました。枚方市では戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるために、3月1日を「枚方平和の日」に制定し戦争と平和を考える様々な事業に取り組んでいます。

3月1日は枚方市平和の日

●枚方市出身の「CHECK DoLL」
によるあかりライブ



●市内大学等によるあかりコンサート及びキャンドルアート、
市内小学生のキャンドルメッセージ

10000個のキャンドルを。

平和の燈火(あかり)

日時：2013年3月1日(金) 17:00～20:00

荒天の場合2日(土)に順延

会場：岡東中央公園 (枚方市駅下車 枚方市役所ヨコ)

主催：平和の燈火(あかり)実行委員会、枚方市、枚方市教育委員会

協賛：枚方人権まちづくり協会

一緒に平和への祈りを捧げましょう

問合せ 枚方市役所 人権政策室 TEL 072-841-1221 FAX 072-841-1700

3・1枚方市平和の日記念事業

枚方市では禁野火薬庫が爆発した3月1日を、爆発から50年目の1989年に「枚方市平和の日」と制定しました。各事業を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを若い世代に語り継ぐとともに、平和の大切さを考える機会とします。

3月16日(土)~3月25日(月)

平和資料室 特別展

入場無料

「平和の日フォトコンテスト展示会」

2006年8月1日、中央図書館にオープンした平和資料室で戦争遺物等を常設展示しています。今回「枚方市平和の日」記念事業の特別展として、平和の日フォトコンテストに応募のあった写真パネル等を展示し、現在は日常生活の中にある戦争遺跡など、一人ひとりが考えて撮影した枚方の平和の写真を見ることによって、「3・1 枚方市の平和の日」について考えます。

◆開場 午前 9:30~午後 5:00 ◆平和資料室〔枚方市立中央図書館1階〕
(金曜は休館)



3月1日(金) 午後 3:00~5:30 枚方市民会館大ホール

ひらかた平和フォーラム

入場無料

平和の尊さを次世代を担う子どもたちに引き継ぐために、市内の小学生が平和メッセージを発信します。また、国際的な視点から平和について考えるため、戦場カメラマンの渡部陽一さんを招き、自らの体験を踏まえた世界の地域戦などの状況についてお話しいただきます。入場整理券を2月8日(金)から人権政策室(市役所別館5階)、中央図書館2階、メセナひらかたウィル、市駅サービスセンター、各生涯学習市民センターで配布。先着1400名。手話、保育(1歳以上の就学前。先着10名)が必要な方は、2月22日(金)までに電話、ファックスで人権政策室へ。

〈問い合わせ〉人権政策室

Tel.072-841-1221/Fax.072-841-1700



3月2日(土) 午後 3:00~4:00 エフエムひらかた(77.9MHz) 平和特別番組

平和っていいな

戦後 60年以上が経過し、戦争の記憶の風化が進む中、当時のことを少しでも若い世代に伝え続けるために、様々な体験談を中心に放送します。

企画展 生誕百年記念 塔本シスコはキャンバスを耕す

入場無料

【会場】くずはアートギャラリー くずはモール本館正面入口左手エレベータで3階へ

【日時】2月15日(金)~2月27日(水) 午前 10:00~午後 6:00/水曜日は午後 5:00 まで/木曜日は休館

熊本県出身の塔本シスコは48歳の時に脳出血で倒れた後、枚方市在住だった長男で美術家の賢一宅に同居しながら、リハビリを兼ねて独学で絵を描き始めます。原色が鮮やかな花や小鳥たちは生きる喜び、平和への思いを伝え、素朴派・ナイーブアートの画家として世田谷美術館などに作品が所蔵されるなど、平成17年に96歳で亡くなるまで創作を続けました。今回は「絵を描く私」、戦死した青年を描いた「馬入れ川」、戦争で途絶えた郷土祭りを描いた「そこいび祭り」など約40点を展示します。

■関連イベント

1. ギャラリートーク「いいしんじのシスコ大好き」

【日時】2月17日(日) 午後2時から

【トークゲスト】いいしんじ(小説家)

2. 「子どもエイサー」

【日時】2月23日(土) 午後1時半から(約20分)

〈問い合わせ〉生涯学習課

Tel.050-7102-3205/Fax.072-846-7952

